



平成25年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年3月7日

上場会社名 株式会社アスカネット 上場取引所 東  
 コード番号 2438 URL <http://www.asukanet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 福田 幸雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 功野 顕也 (TEL) 082-850-1200  
 四半期報告書提出予定日 平成25年3月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第3四半期の業績 (平成24年5月1日～平成25年1月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第3四半期	3,375	0.2	500	△19.4	504	△18.8	308	△12.8
24年4月期第3四半期	3,369	0.1	620	5.6	621	6.1	353	3.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年4月期第3四半期	73.62		—					
24年4月期第3四半期	84.38		—					

当社は、平成24年5月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり四半期純利益の金額は、前事業年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年4月期第3四半期	3,664	3,256	88.9
24年4月期	3,770	3,028	80.3

(参考) 自己資本 25年4月期第3四半期 3,256百万円 24年4月期 3,028百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
25年4月期	—	0.00	—		
25年4月期(予想)				26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年5月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。なお、株式分割は平成24年5月1日を効力発生日としておりますので、平成24年4月期の期末配当金につきましては、株式分割前の株式数を基準に配当を実施しております。

3. 平成25年4月期の業績予想 (平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,730	5.5	603	△18.0	600	△18.7	365	△14.4	87.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年4月期3Q	4,366,000株	24年4月期	4,366,000株
25年4月期3Q	179,461株	24年4月期	179,400株
25年4月期3Q	4,186,565株	24年4月期3Q	4,186,600株

当社は、平成24年5月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数は、前事業年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や、政権交代後の円安および株高の進行等、景気回復への期待が高まる一方で、欧州債務危機をめぐる海外景気の不確実性は高く、依然として先行きが不透明な状況となっております。

当社を取り巻く環境につきましては、当社が提案してまいりました個人が1冊から作成する写真集は、「フォトブック」として浸透が進んでおりますものの、景気の先行き不透明感は、消費マインドを抑制しており、業務向けの写真市場や葬祭市場だけでなく、一般消費者市場におきましても、厳しい環境が継続しております。

このような状況の下、当社は景気動向に左右されにくい葬祭市場に対し遺影写真等の画像映像のデジタル加工、通信出力サービスを主に提供する安定型ストックビジネスであるメモリアルデザインサービス事業、写真市場という大きな市場に対し、1冊から本格的な写真集という新しい写真のアウトプット手法を提案するチャレンジングなビジネスであるパーソナルパブリッシングサービス事業、空中結像という今までにないユニークな技術で、新しい市場を創造し、夢の実現を目指すエアリアルイメージング事業、それぞれ位置づけや特色が異なる三つの事業を展開してまいりました。

昨年10月に本社隣の土地、建物を取得いたしました。現在、まずはパーソナルパブリッシングサービス事業の生産部門で活用すべく工事を行っております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,375,427千円(前年同四半期比100.2%)、営業利益は500,373千円(前年同四半期比80.6%)、経常利益は504,763千円(前年同四半期比81.2%)、四半期純利益は308,200千円(前年同四半期比87.2%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (メモリアルデザインサービス事業)

メモリアルデザインサービス事業におきましては、引き続き画像処理の高い技術力や充実した自社サポート体制を強調した顧客開拓を進め、新規顧客を獲得するとともに、動画を用いた葬儀演出ツールの販売に取り組んで参りました。第2四半期までは葬儀施行件数が例年に比べ少なく、遺影写真加工収入が苦戦したものの、第3四半期に入りまして、回復傾向にあります。一方、ハード機器買換の手控え傾向は継続しており、ハード機器売上は前年同期を下回りました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,550,411千円(前年同四半期比100.1%)、セグメント利益は530,192千円(前年同四半期比100.7%)となりました。

#### (パーソナルパブリッシングサービス事業)

パーソナルパブリッシングサービス事業におきましては、自社営業による新規顧客開拓、セミナー等による顧客掘り起こし、インターネットを中心とした宣伝施策の実施により、業務拡大を図ってまいりました。国内向けの写真集が堅調だった一方、海外向けの写真集は円高および競争の激化により苦戦いたしました。また、国内業務向け写真集の新製品のリリースに伴い、契約客を対象としたサンプルブックの配布やセミナーの開催など告知活動を積極的に行いました。また、昨年10月に国内一般消費者向けの新たな写真集制作ソフトウェアをリリースし、本年1月には写真愛好家向け展示会CP+に出展するなど広告宣伝にも重点的に取り組んでまいりました。新型印刷機導入により減価償却費が増加したことに加え、新製品・新ソフトウェアのリリースに伴い広告宣伝費や販売促進費が増加しました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,811,131千円(前年同四半期比99.7%)、セグメント利益は289,299千円(前年同四半期比74.2%)となりました。

(エアリアルイメージング事業)

エアリアルイメージング事業におきましては、デモンストレーションの実施などのマーケティング活動や量産化を前提とした試作品の販売を行うとともに、量産体制に向けての準備や技術開発に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は13,884千円(前年同四半期比334.9%)、セグメント損失は51,979千円(前年同四半期は48,708千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ106,275千円減少し、3,664,293千円となりました。これは主に、現金及び預金が181,378千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ334,798千円減少し、407,425千円となりました。これは主に、未払法人税等が76,800千円、前事業年度末に固定資産の購入などにより増加した未払金が132,383千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ228,523千円増加し、3,256,867千円となりました。これは主に、剰余金の配当として83,732千円減少した一方で、四半期純利益の計上により308,200千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年6月8日に発表いたしました平成25年4月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,434,842	1,253,464
受取手形及び売掛金	503,899	558,305
商品及び製品	82,137	78,196
原材料	40,456	40,688
仕掛品	13,579	12,735
その他	86,151	86,316
貸倒引当金	△6,432	△6,637
流動資産合計	2,154,634	2,023,069
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	475,718	488,181
土地	370,758	432,702
その他(純額)	334,618	307,214
有形固定資産合計	1,181,095	1,228,098
無形固定資産	242,937	225,198
投資その他の資産	191,900	187,927
固定資産合計	1,615,933	1,641,223
資産合計	3,770,568	3,664,293
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	86,804	80,844
未払法人税等	133,200	56,400
賞与引当金	108,600	54,000
その他	389,236	197,406
流動負債合計	717,840	388,651
固定負債		
長期借入金	8,723	—
退職給付引当金	9,385	10,112
その他	6,274	8,662
固定負債合計	24,383	18,774
負債合計	742,223	407,425
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	606,585	606,585
利益剰余金	2,057,046	2,281,514
自己株式	△122,549	△122,590
株主資本合計	3,031,381	3,255,809
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,037	1,058
評価・換算差額等合計	△3,037	1,058
純資産合計	3,028,344	3,256,867
負債純資産合計	3,770,568	3,664,293

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)
売上高	3,369,543	3,375,427
売上原価	1,556,205	1,615,869
売上総利益	1,813,338	1,759,557
販売費及び一般管理費	1,192,731	1,259,184
営業利益	620,607	500,373
営業外収益		
受取利息	234	1,263
受取配当金	500	584
受取手数料	409	402
助成金収入	7,140	—
為替差益	—	1,534
その他	547	1,252
営業外収益合計	8,830	5,036
営業外費用		
支払利息	1,457	646
為替差損	6,120	—
その他	27	—
営業外費用合計	7,605	646
経常利益	621,832	504,763
特別損失		
固定資産売却損	499	—
固定資産除却損	13,004	1,598
特別損失合計	13,503	1,598
税引前四半期純利益	608,329	503,164
法人税等	255,081	194,964
四半期純利益	353,247	308,200

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシン グサービス事 業	エアリアルイ メージング事 業(注) 3	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,548,872	1,816,525	4,146	3,369,543	—	3,369,543
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,548,872	1,816,525	4,146	3,369,543	—	3,369,543
セグメント利益又は損失 (△)	526,322	389,875	△48,708	867,490	△246,883	620,607

(注) 1 セグメント利益の調整額△246,883千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

3 エアリアルイメージング事業は、平成23年3月から開始した事業であります。

当第3四半期累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成25年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシン グサービス事 業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,550,411	1,811,131	13,884	3,375,427	—	3,375,427
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,550,411	1,811,131	13,884	3,375,427	—	3,375,427
セグメント利益又は損失 (△)	530,192	289,299	△51,979	767,512	△267,139	500,373

(注) 1 セグメント利益の調整額△267,139千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。